

新潟市歴史博物館 令和元年度 事業報告

○ 指定管理事業 212,460,931 円

1 文化事業 10,472,179 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月下旬から体験プログラムを中止した。また、3月に予定していた館長講座を4月以降の開催に延期した。

(1) 展示運営更新 82,080 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、7月・9月・1月の3回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 6,916,265 円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「新潟市の文化財」

新潟市域に所在する指定文化財のうち、主に公的機関が管理するものの中から地域の特徴をあらわす資料をえらび、その歴史や魅力を紹介した。

開催期間 令和元年4月13日～6月16日 57日間

観覧者数 4,437人（うち有料観覧者 2,989人、無料観覧者 1,448人）

② 「開港場新潟」展

本年、新潟市は開港150年を迎えた。本展では、新潟開港が決定するまでの道のりや開港を迎えた当時の状況、その後の新潟の変化など、開港をめぐる新潟の歴史を紹介した。

開催期間 令和元年7月13日～8月25日 39日間

観覧者数 4,442人（うち有料観覧者 3,199人、無料観覧者 1,243人）

③ 第16回むかしのくらし展「布とむかしのくらし」

糸車のような布の生産に必要な道具や、洗濯板など関連する道具、白根しぼりのように新潟市に関係がある布などを紹介した。

開催期間 令和元年9月14日～12月8日 74日間

観覧者数 9,231人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「新潟市とスポーツ」というテーマで資料を紹介した。また、令和元年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和2年2月15日～3月22日 32日間

観覧者数 1,778人（無料観覧者）

(3) 教育普及事業 **134,072円**

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計80回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館実習を実施した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生1名をインターンとして受入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全9回、古文書入門講座 全4回 など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、「春の税関まつり」(4/13)をはじめ、ボランティアによる自主事業を多数開催した。登録者数111人。

(4) 施設普及事業 **2,535,338円**

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を企画・開催した。

堀とさくらのコンサート（4/14）、夕涼みコンサート（8/17）、みなと・しもまち・川まつり（8/25）

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・館長バスツアー「寺泊・海物語 寺泊から見る新潟の近代化」（6/16）・まちあるき「海風感じる新潟坂道あるき」（10/6）・館長講演会「博徒と抗争」（12/8）・学芸員による講座「美術を楽しむー行田魁庵」（2/11）を実施した。

(5) 調査研究事業 407,646 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

その他、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 16号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 396,778 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

2 文化施設管理受託事業 201,988,752 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 令和元年度歴史博物館入館者数 91,999 人